

2008年度 日本文化人類学会

総会 議事録

日時：2008年6月1日（日） 13:15～14:50

会場：京都大学 吉田キャンパス 吉田南構内 吉田南4号館 4共30教室

議長：関雄二 議事録確認者：丹羽典生、細谷広美

〔議題〕

1. 2007年度事業報告
 - ・小田亮前期庶務担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
2. 2007年度会計報告
 - ・棚橋訓前期会計担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
3. 第23回評議員選挙報告
 - ・第22回選挙管理委員会を代表し、関根康正委員長より別紙の通り報告があり、承認された。
4. 第23期会長の推薦
 - ・第23期評議員による会長候補者選挙の結果を受けて、須藤健一第22期会長が山本真鳥会員を新会長に推薦し、満場一致により同氏が第23期会長に選任された。
5. 2008年度事業計画案
 - ・上杉富之庶務担当理事より別紙に基づき説明があり、承認された。
6. 2008年度予算案
 - ・葛野浩昭会計担当理事より別紙に基づき説明があり、承認された。
7. 第23期監事の推薦
 - ・評議員会の提案を受け、石井溥、宮治美江子の両氏が第23期監事に選任された。
8. 名誉会員候補者の推薦
 - ・評議員会の提案を受け、大貫良夫、末成道男の2氏を名誉会員として推戴することが承認された。
9. 倫理綱領について
 - ・「日本文化人類学会倫理綱領」について別紙に基づき原案の説明があり、2008年6月1日より施行されることが承認された。
10. 機関リポジトリへの対応
 - ・機関リポジトリへの対応について、赤堀雅幸広報・情報化担当理事より下記の通り提案が

あり、承認された。

日本文化人類学会会員は、第72巻4号以前の『文化人類学』または『民族学研究』（**Japanese Review of Cultural Anthropology** を含む）に掲載された論文等に関して、印刷媒体または電子媒体での転載、コピー等を行う際、2007年7月31日制定の「『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準」に準拠して行うことを申し合わせる。

11. その他

- 研究大会運営検討委員会委員長の大塚和夫理事より、2009年度第43回研究大会について下記の通り報告があった。
 - 国立民族学博物館の運営により大阪国際交流センターを会場として開催する予定であるが、会場スペースが限られるという物理的理由から、研究発表者数に上限を設ける予定である。
 - 上限を設けるに当たっては、研究発表の質を維持するために発表時間の短縮などの措置をとらず、研究発表の登録条件（規定字数を満たした発表要旨の提出、大会参加費・2008年度までの年会費の納入など）を厳格に適用するとともに、登録締切日前でも、条件を満たした登録者数が発表者数の上限に到達し次第、登録受付を終えることで対処する。
 - 発表者数の上限、発表登録に必要な条件などについては本委員会と開催担当機関（民博）が検討し、決定し次第、早急に全会員に向けて公表することとする。